



～建築は、建てることより育てること～

MIZUNO "旬感"だより

vol.199

令和5年9月号

カ・のぎ

禾

いね・わら
穀物の総称

9月の異称＝長月(ながつき) 少しずつ夜が長く感じられる月なので“夜長月”といわれ、それが短くなって“長月”になったという説があります。“秋の夜長”は何を愉しみますか？

今月の言葉

『日常の幸せを子どもに与えよ』

養老孟司著 “子どもが心配 人として大事な三つの力” より

高橋 最近流行りの「自己肯定感」という言葉、実はあまり好きではないのですが、あえて使うならば、人は生まれてきた瞬間が最も自己肯定感が高いはず。生まれてくるんじゃなかった」と思って生まれてくる赤ん坊はいませんね。

そういう幸福感に満ちた子どもの心が、成長するにつれて、家族や周囲、そして社会からのプレッシャーを受けてしだいに擦り減っていく。

ところが親はそうとは知らず、先ほどお話ししたように、ネットに流布するさまざまな「正しい子育て」に直面し、親としての自信をなくしてしまう。そもそも「正しい子育て」なんてないと開き直してほしいというのが、小児科医としての私の切実な思いです。

養老 現代は人生がカーナビに従う車のようにってしまった時代であると、しみじみ痛感しますね。ナビの案内に従えば、目的地までは効率よくたどり着けるでしょう。しかし、道中にこんな山があるとか、綺麗な花が咲いているといった道草を食う行為が忘れ去られてしまった。目的に向かって最短距離で走り続ける人生は、まさしくカーナビそのものです。

よそ見をしたり、道草を食ったりしながら、カーナビには絶対に出てこないルートを進むなかで、さまざまな実体験を積み上げていくのが人生だと思っております。

高橋 そうですね。子育てというのは、「将来どの大学に進み、どういう仕事に就くか」というように、目的達成を重視してやっていくと、いずれ裏切られることになる。「ああやってあげれば、こうなる」ということがないのが育児ですから。

教育や子育ての本質は、効率主義や成果主義の先にはないはず。むしろ、無駄なことや遠回りした先に待っているように思います。

※著者の養老孟司さんと高橋孝雄さん(慶応義塾大学医学部小児科主任教授)の対談です。

この旬感だよりも養老流で言う(糊)ミズノの“道草”かもしれないですね。野山を駆けめぐると感じながら楽しんでもらえたらと思い発行しています。おかげさまで、来月200号を迎えます。

ご愛読の皆さま、いつもありがとうございます。



水野博旨

不動産もミズノへ!

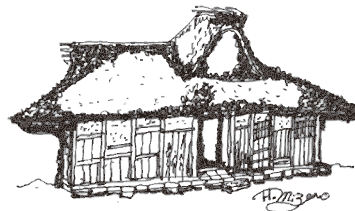
創業1950年の信用と実績を礎に、不動産業にも力を入れてまいります。

土地 建て物 どうぞお声掛けの程、よろしくお願いします。

空間設計 ミズノ vol.77 のデザイン記録



名古屋市東区「文化のみち」の中心的な建物、二葉館をご紹介します。日本初の女優川上貞奴と電力王と称された福沢桃介が暮らしていた邸宅を移築・復元したものです。ひとときわ目立つのがオレンジ色の瓦の発色の良さ、そして洋風屋根の複雑な構成です。政治家や財界人、文化人が訪れるサロンとしても使われていたそうですから、この東洋と西洋の文化が溶け合った新しい建築は多くの方を喜ばせたでしょうね。例年11月3日の「文化の日」にはイベントが催されていますから、この大正ロマンの香り高い建物を訪れてみてはいかがでしょうか。 スケッチ・文 水野真宏



伝統再築士による 古民家&日本建築講座

伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の高い木造物を残すための専門家

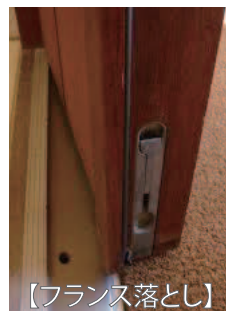
建築用語って変わった名称のものがあるよね。“フランス落とし”って何か知ってる？



両開き扉や親子扉の片方(鍵が付いていない方・子扉)の扉を開かないよう固定する金具で、現在も洋風の建物や商業施設などでよく見かけます。扉の厚み部分に埋め込まれており、つまみを引き出して落とす(下ろす)ことでロックされます。“フランス窓に付けられた落とし込み金具”が略されて、“フランス落とし”という名称になったようです。

欧米などで両開きする扉(窓)のことを“French door=フランス風の扉”と呼ばれていたことから、洋風建築が取り入れられるようになった日本では“フランス窓”という名称になりました。実際のところ、日本の住宅事情ではフランス窓を両開きにして使用することはあまりありませんが、そのような構造や金具だけは現在も使われています。

“フランス落とし”と同じ用途の金具で“丸落とし”がありますが、こちらは埋め込みではなく、子扉の室内側表面に取り付けます。大きな扉から小さな開き戸や引戸など、様々な建具に取り付けることができます。



【フランス落とし】



【丸落とし】

株式会社 ミズノ ホームページ→

新ホームページもご覧ください。

mizuno1950

で、検索 又は→



空間設計 ミズノ ホームページ→

www.mizuno-architects.com



一 ご相談やお問い合わせはこちらへ

さわやかなすまいに

0120-387-312

mizuno@mizuno1950.co.jp



一 建築は、建てることより育てること

一級建築士事務所

株式会社 ミズノ 空間設計 ミズノ

第71回ミズノメセナイイベント予告

さかきばらとしのぶ さかきばらさちこ
榊原利修 & 榊原祐子
 コントラバスとピアノの
クリスマスコンサート



2023年 **12月9日** (土曜日) 開場 18:00 開演 18:30

会場: 株式会社ミズノ本社 1階 (名古屋市港区) / 参加費: 1000円

今年もあと3ヶ月で師走を迎えます。ミズノメセナイイベントではお馴染みのお二人のこのコンサートを、年末のお楽しみにしていただけたら幸いです。
※参加のお申込みは来月より受け付け致します。



『マラソン距離って、なぜ42.195km?』

皆さんの中で、フルマラソンにチャレンジしたことのある方はいらっしゃいますか? 経験のない方でもフルマラソンの距離が42.195kmということは知っていると思います。しかし、なぜこんな半端な距離なのでしょう?

実は第7回オリンピック(1920年)までは距離の統一がされておらず、“約40kmであればよい”とされていました(それもビックリ!)。しかし、第4回ロンドンオリンピックの際、この時のイギリス王女アレキサンドラが“スタートは城の窓から見えるように宮殿の庭で、ゴールは競技場にあるボックス席の前で”とリクエストした結果、その距離が42.195kmだったそうです。その後、第8回パリ大会(1924年)からマラソンの距離を固定することになり、第4回大会の距離が採用されたというわけです。予想外の理由にランナーの気持ちもフツと軽くなりそうですね。

マラソンのオンシーズンは冬。フルマラソンを走りきるための準備期間は最低でも3ヶ月必要だといわれています。今から準備すれば、今シーズンに間に合いますよ(笑)! フルマラソンはハードルが高い目標ですが、間もなく迎える秋は何か始めたい気分になります。それぞれの“〇〇の秋”を楽しんでください!

第四十二候 9/3~9/7頃 “稲など穀物が実り始める頃”



こくものすなわちみのる 稲や粟など穀物が実り、徐々に田んぼは黄金色に色付きます。夏の終わりを惜しみつつ、“実りの秋”を迎えます。

『禾乃登』



●漢字の部首“禾(のぎへん)”は、こんな意味。
 名前からして、木(きへん)に“ノ”が付いたみたいイメージでしたが、“禾”の甲骨文字は右のような形をしていて、穂を実らせた穀物の形です。つまり、“禾(のぎ)”は穀物の穂が垂れている様子なのです。収穫直前の田んぼで爽やかな風に揺れながら黄金色に輝く稲穂に、夏の疲れもちょっと癒されます。

●女郎花(おみなえし)と男郎花(おとこえし)

“萩の花 尾花(おばな) 葛花(くずはな) 撫子(なでしこ)の花 女郎花(おみなえし) また藤袴 朝貌(あさがお)の花”

秋の七草の一つでもある女郎花は、小さな黄色い花が可憐で女性らしい印象です。女郎花の近縁種である白い花を咲かせる男郎花は女郎花に比べてひと回り大きく力強い姿から、それぞれの名が付いたようです。また、黄色い花が粟の粒に、白い花が白い米粒に見えることから、粟は女性の食べ物=女飯(おみなめし)、白い米=男飯(おとこめし)とされていたので、これが語源になったともいわれています。



女郎花



男郎花

●月の色、見え方が変わるのなぜ?

最近、満月の頃になるとその見え方から“ブルームーン”や“ストロベリームーン”など名付けられた月が話題になります。月の色見え方は水蒸気量や空気の質、そして位置(高さ)と関係しており、湿度が低く、空気が澄んでいるとより輝き、地(水)平線近くは赤く見えます。月は地球を1ヶ月かけて1周し、地球は月と共に1日1回転しながら、1年かけて太陽を1周します。いろんな条件が重なったタイミングで“〇〇年に1度の〇〇ムーン”が生じるわけです。今月の満月(9/29)は“スーパーハーベストムーン”と名が付いているようですよ。

今年の中秋の名月は9/29(金)です。

本社中庭の“落ちないセミ”1年越しました!

今年の夏にカリンの木から巣立ったセミの抜け殻が、雨風どころか台風にも耐え1年経ちました。カリンは落葉樹なので、冬に一旦全て葉を落とすのですが、なぜか抜け殻のついた葉だけ枯れず、現在も青いまま落ちていません。摩訶不思議な現象に私たちも驚いています。セミの抜け殻はツバメの巣と同様に縁起物のようです。“今日も一日よろしくお願います。”と出勤したら様子を見に行くのが日課になり、引き続き見守っていきます。



落ちないゾ〜!

受験生や試験に挑まれる方。よかったらこの写真をお守りにしてください!

創業73年目! 株式会社ミズノ・空間設計ミズノは、

住宅にも店舗の要素を取り入れたデザイン

を得意としています。新築から小さな修繕まで承ります。

◆施工例などはHPをご覧ください。



住宅・店舗の建築・リフォーム・リノベーションの設計・施工監理まで行っております。

相談無料

暮らしを彩る家づくり
新しい年を迎える前に、住まいを整えませんか?
 ~「どうしたらいいのかな?」にお応えします~

ご相談は、夜間や土日祝日、お子様連れでも大丈夫です!

※ご相談は本社(港区)設計部(東区)どちらの場所でも可能です。



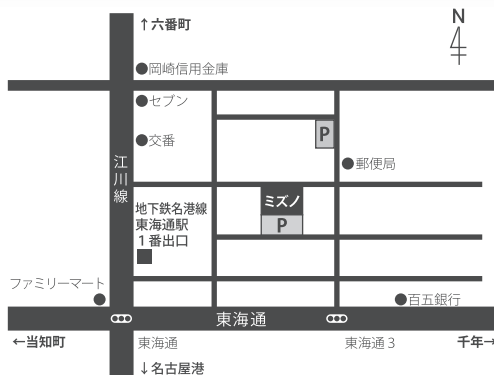
まず、お電話やメールにてご相談下さい。



住宅・店舗の設計・施工・監理
株式会社 ミズノ

〒455-0001
 名古屋市港区七番町5丁目3番地
 TEL: 052-652-6886
 FAX: 052-661-0653
 Web: www.mizuno1950.co.jp
 Mail: mizuno@mizuno1950.co.jp

☎ 0120-387-312



・駐車場は社屋南側と郵便局側にご覧下さい。
 ・市営地下鉄「東海通駅」下車、1番出口より徒歩3分

一級建築士事務所

空間設計 **ミズノ**

〒461-0025
 名古屋市東区徳川一丁目10-3
 名古屋陶磁器会館2階204号室
 TEL: 052-982-8316
 FAX: 052-982-8357
 Web: www.mizuno-architects.com

住宅設計・デザインリフォーム・商店設計
 コンバージョン(用途変更)・など



・最寄りの駅 市営地下鉄 桜通線 高岳駅(徒歩20分)
 ・最寄りのバス停 市バス 赤塚バス停・赤塚白壁バス停